



平成 22 年 11 月 5 日

各 位

会社名 株式会社ラウンドワン
 代表者名 代表取締役社長 杉野 公彦
 コード番号 4680 東証・大証第一部
 問合せ先 執行役員管理本部長 佐々江 慎二
 072-224-5115 (代表)
<http://www.round1.co.jp>

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 22 年 5 月 14 日の決算発表時に公表いたしました平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

.業績予想の修正について

平成 23 年 3 月期第 2 四半期 (累計) **連結**業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	42,900	6,800	4,500	680	8 58
今回修正予想 (B)	41,556	5,499	3,114	5,506	57 79
増減額 (B) - (A)	1,343	1,300	1,385	6,186	
増減率	3.1%	19.1%	30.8%	-	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	40,836	6,037	3,953	2,095	30 06

平成 23 年 3 月期第 2 四半期 (累計) **個別**業績予想数値 (平成 22 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	42,900	3,900	4,500	680	8 58
今回修正予想 (B)	41,509	1,933	3,206	5,414	56 82
増減額 (B) - (A)	1,390	1,966	1,293	6,094	
増減率	3.2%	50.4%	28.7%	-	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	40,836	3,491	3,956	2,098	30 11

(注) 今回修正予想の『1株当たり当期純利益』の算出にあたっては、平成 22 年 9 月末現在の総発行済株式数から自己株式を控除した株数である **95,289,183** 株を使用しております。

.修正の理由

(1) 連結業績の修正理由

足元の業績は回復傾向にあります。個人消費が冷え込んだ状態で推移したことや、今夏の猛暑の影響でボウリング・スポッチャ等のスポーツ系アイテムが敬遠された結果、上期の売上は想定以上に伸び悩みました。また売上高の減少に加えて、計画以上に人件費等のコスト負担が大きく、営業利益と経常利益に影響を与えました。なお、四半期純利益の修正に関しては、平成22年10月22日に開示させて頂きました「平成23年3月期 通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」に記載している特別損失の発生について、第2四半期連結累計期間において取り込んだ影響によるものです。

(2) 個別業績修正の理由

連結業績と同じ要因により個別の業績を修正いたしました。

(3) 平成23年3月期通期業績予想について

当上半期においては計画を下回る結果となりましたが、足元は夏以降から回復トレンドに変わっております。既存店舗の売上高におきましても、8月・9月は暦の調整（前年同月との土曜・日曜・祝日の日数差）を勘案すると、ほぼ前年並みで推移しており、10月には40ヶ月ぶりに主要な部門の売上が前年比プラスとなり、現状は底固い状況が続いております。

また当下半期には、大型新機種と最新設備の導入により、アミューズメントとカラオケは更なる業績の向上が見込まれ、ボウリングとスポッチャにつきましても、テレビコマーシャルの集中オンエア効果等により、堅調に推移することが予想されます。加えてボウリングとカラオケに関しては、6月から10月にかけて実施した改装工事により、更に業績の押し上げ効果が期待出来ます。

以上を踏まえると、上期計画の未達分を下期で補えるものと考えており、通期業績予想に関しましては、平成22年10月22日に開示させて頂きました「平成23年3月期 通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」からは変更しておりません。

(注) 上記の業績予想は現時点での予想数値であり、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値とは異なる可能性があります。

以上